

## 競技上の注意

### 1 競技方法

- (1) 全種目 25点1ゲームマッチ (24-24になった場合、2点差がつくか30点まで) とする。
- (2) ゲーム進行上、タイムテーブルとコート・時間が変わる場合があるため、場内放送に注意すること。

### 2 シャトル

- (1) シャトルは、本部で渡されたシャトルを使用する。
- (2) 交換の際は、使用したシャトルを本部に持ってくる。(本部により近い線審の生徒が交換に来る。)
- (3) シャトルを渡されたら、試し打ちはなし。すぐに試合を開始する。

### 3 インターバル

25点1ゲームの場合は13点でチェンジエンスを行う。その間に60秒を超えないインターバルを認める。

### 4 サイド

- (1) コーチングシートは、協会登録を完了している監督とコーチ2名まで入ることができる。  
※ 1年生の初心者において、同チームの選手がサポートとしてベンチに入ることは可とする。
- (2) コーチングシートは、選手がチェンジエンスした際に交代する。(アドバイスはチェンジエンス後とする。)

### 5 ゲーム中(インプレー以外時)のアドバイス

- (1) アドバイスはコーチングシートからのみとする。
- (2) 試合の遅延行為にならないようにする。また、相手選手が萎縮するようなアドバイスであってはならない。
- (3) 換気のための中断している時のコーチングは禁止する。

### 6 水分補給等

- (1) 競技中の汗拭き、水分の補給については、主審の許可を得て行き、ゲームの中断にならないようにする。水分補給用容器は、ワンタッチ式水筒やスクイズボトル等を使用する。

### 7 審判

- (1) 線審・得点揭示は、試合をしている学校(団体)で、相互に行う。
- (2) 1回戦の主審はシード選手にお願いします。
- (3) 2回戦以降の主審は敗者審判とする。
- (4) 試合が終了したら、勝者が速やかに審判用紙を本部に持ってくる。
- (5) 初心者について審判が不安な場合は、補助をつけるか交代しても構わない。

### 8 試合態度

- (1) プレーを故意に遅らせたり中断したりすることをしてはならない。(16条第6項)
- (2) 見苦しい服装、無礼な態度や言動、耳障りな掛け声や叫び声などもしてはならない(同条)。  
※これらの行為が度重なる場合は、警告の後、フォルトをとる。
- (3) 審判に対しての質問は認められる(ただし、当該選手のみ)が、抗議はできない。
- (4) 上衣は下衣の中に入れること。(ユニフォームの形状で上衣を中に入れられないものもあるが、あいさつの時やインターバル後は入れておくこと)
- (5) リストバンドの使用は認めるが汗止めのアンダーラップなどは認めない。

### 9 その他

- (1) 監督・コーチ・マネージャーがコーチングシートに入る(登録済の者に限る)場合、公認審判員規程に従い、マッチにふさわしい服装(上衣はチームユニフォーム、・シャツ・ポロシャツ・ブラウス、下衣は長ズボン・スカート)とする。[ウィンドブレーカー・長袖ジャージは可、7分丈のズボンは可、ジーンズは不可]
- (2) 大会使用ウェア(インナーウェアも含む)は、令和3年度(公財)日本バドミントン協会審査合格品、又は各学校の体操服とし、ゼッケンを着用すること。
- (3) フロア内での飲食、フロア外でのラケット等を使用した練習は禁止する。
- (4) 会場使用上のマナー向上にご協力ください。(上履きと下履きの区別、トイレ等の使用など)
- (5) ごみは、各学校(団体)で必ず持ち帰る。弁当の容器等業者回収を依頼する場合は、受け渡し場所を確実に打ち合わせておく。